

# IGER SEMINAR

Integrative Graduate Education and Research Program in Green Natural Sciences



ラク  
にやらせて楽しよう -データの可視化と下ごしらえ-

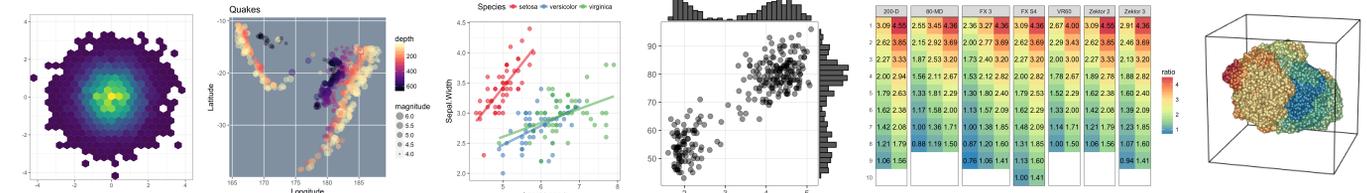
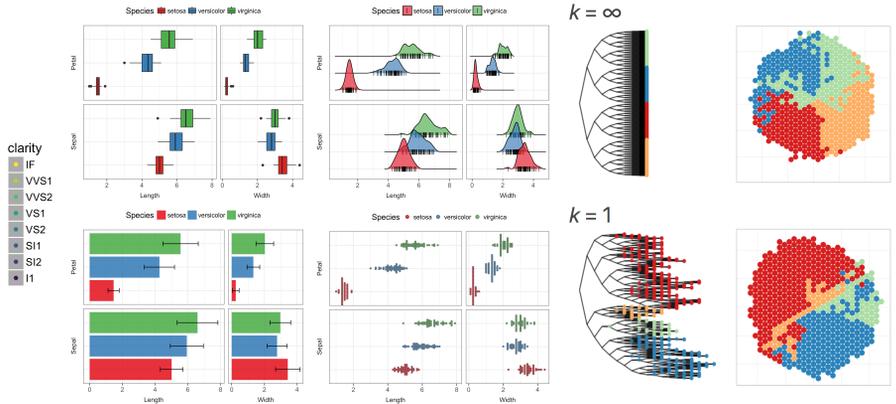
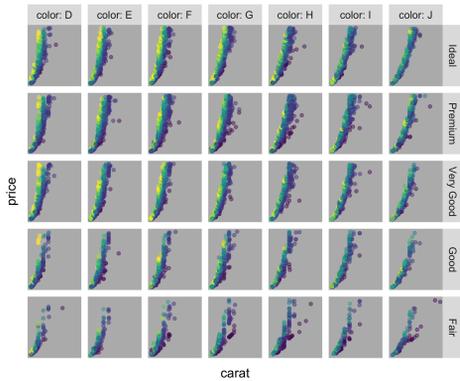


岩寄 航 博士 (総研大 先端科学)

## セミナーの内容

0. どうしてRを使うの？
1. Rの基本
2. R + ggplot2 — きれいなグラフを簡単に合理的に
3. R + tidyverse — 使える形にデータを整える

Diamonds



データの解析と作図は、どんな研究にも欠かせません。しかし実験や野外観察、データベースなどから得られるデータは多種多様な形で、そっくりそのまま解析や作図に使えるということはありません。そのため、多くの解析は、まずデータを整形するところから始まります。このデータ整形、みなさんはどのように行っていますか？あれをあっちにコピーして、あのメニューからあれを選択して…そんな手作業のデータ整形では、再現性が低下し、また膨大な作業量が必要です。作図に関しても、データを取るたびに、あれの配色と配置を微調整して…と同じ作業を繰り返していませんか？いつでもだれでも再検証し使いまわせるように、このような規則性のある退屈な仕事は機械に任せるのが得策です。本講義では、近年さらに易しくなったR言語を用いることで、いかに簡単に生データから効果的な作図まで辿り着けるか、実例を交えながらご紹介します。

2018 **5.18** Fri 14:45 - 16:15

理学部E館 E131号室

問い合わせ：石川由希 内線 (2905)